

# ワンダーシップ表彰について

“Wonder”な功績を残された方に対し、「ワンダーシップ表彰」を行なう。航海会議にてWonder Ship授与審査をする。

## WONDERSHIP 1

**Jリーグ創設の功労者 川淵 三郎 氏**

ワンダーシップの立ち上げの趣旨にご賛同くださり、記念講演を引き受ける。

その座右の銘「斃れて後已む」はワンダーシップの歌の歌詞にも引用された。

## WONDERSHIP 2

**岡山大学 大学病院教授 那須 保友 氏**

木原文男初代船長の主治医として彼の希望の灯となる。木原クルーは岡山で受けた最先端治療を誇りに旅立つが、教授は後に前立腺癌に遺伝子治療の道を開くパイオニアとなった。

## WONDERSHIP 3

**バンクーバーオリンピック、炎の解説者 小林 宏 氏**

日本のカーリング界に夜明けをもたらしたワンダーな男。自費でカーリング施設を造り、競技の普及と選手育成に尽力。五輪直後の例会で熱弁を振るった。

## WONDERSHIP 4

**横綱 白鵬 翔 氏**

ワンダーシップメンバー竹内昌彦がモンゴルに建てた、視覚障害者のための職業支援学校の開校報告祝賀会にお祝いのビデオレターを届ける。その夏には、ウランバートルの現地を異例の訪問。竹内、職員、生徒らを勇気付けた。

## WONDERSHIP 5

**岡山理科大学 准教授 山本 俊政 氏**

淡水魚と海水魚が共に生活できる好適環境水を開発。海水魚の陸上養殖を可能にし、砂漠の真ん中に養殖場を作る夢を追う。人類の食料危機を救う貴重な研究。

## WONDERSHIP6

(一社) エネルギーから経済を考える

経営者ネットワーク会議 代表理事 鈴木 悌介 氏

東北大震災を機に経済人の立場から脱原発を唱える。自然エネルギーの普及のための経営者のネットワークを立ち上げ、本当の社会の豊かさを求め行動。

## WONDERSHIP7

ロサンゼルスオリンピック 金メダリスト 森末 慎二 氏

ロサンゼルス五輪で、体操種目別鉄棒で10点満点を出し金メダル、跳馬では銀メダル、団体では銅メダルと3つのメダルを獲得。また映画「見えないから見えたもの」にも出演。

## WONDERSHIP8

(一社) 日本ディスコン協会 会長 桧山 武雄 氏

「ディスコン」を発明し、その楽しさを全国に広め、全国大会を開催。人々の新しい人生を広げ、生涯スポーツ振興の一翼を担う活動を展開。

## WONDERSHIP9

ウルトラマラソンの女王 貝畑 和子 氏

30代でマラソンに出会う。ガンを克服し多数の大陸横断ウルトラマラソンを完走。がん撲滅マラソンへの参加や視覚障害者伴走ランナーとしても活躍。

## WONDERSHIP10

平林金属男子ソフトボール部 副キャプテン 松田 光 氏

日本リーグでMVP多数選出。投手では最多勝、打者としては首位打者、本塁打王、打点王等、受賞多数の二刀流。日本が誇るソフトボール界の至宝。

## WONDERSHIP11

真備町支える会

内藤さんをはじめとする会のメンバーは、西日本豪雨の被災地真備地区で濁流に飲み込まれ取り残された後輩の母親の救助依頼をきっかけに、自身の危険を省みず、水上バイクで約15時間にわたり120人を超える住民の救助活動を行い、多くの人命を救った。

## WONDERSHIP12

バレーボール全日本女子代表 荒木 絵里香 氏

倉敷市出身の全日本女子バレー選手。2008年北京オリンピック代表、2012年ロンドンオリンピックでは主将として銅メダル獲得に貢献。2013年結婚、出産し、猛トレーニングで産後わずか5ヶ月のスピード復帰。2016年リオオリンピック代表で出場。母親として幼い娘を残してバレーに打ち込むことに対し葛藤し、娘の為にバレーを頑張ると語る、最強のママさんプレーヤー。

## WONDERSHIP13

NPO法人みらい予想図 山崎 理恵 氏

重度の肢体不自由と重い知的障害のある子供などを対象にしたデイサービス施設を高知市に開設。全盲で重複障害のある12歳の次女を育てる中で、同じ境遇にある親たちが支えあい安らぐ場所をつくった。今の事業は通過点であり、どんな人も共存できる笑顔で過ごせる場所が最終目標と話す。

## WONDERSHIP14

もんげーバナナ開発 田中 節三 氏

岡山産バナナ「もんげーバナナ」開発者。日本国内で熱帯果樹を栽培可能にした「凍結解凍覚醒法」は、植物栽培の革命。今後の農業を変えていく画期的な方法を生み出した。

## WONDERSHIP15

竹内 糸子 氏

竹内昌彦氏の妻として、長年氏を支え続けている。竹内昌彦氏は幼少期に失明し全盲となり、岡山県立岡山盲学校の元教頭。全国で「いじめ」や「命の大切さ」をテーマに講演活動を行い、その数は20年間で2000回以上。聴衆はのべ20万人を超え、その寄付金を元にモンゴルやキルギスの途上国に盲学校を設立し、視覚障害者支援を行っている。

## WONDERSHIP16

渋川動物公園園長 宮本 純男 氏

生きた動物とふれあう動物園をつくらうと、ショベルカーを操って山を切り開き、井戸を掘り、土地の購入や融資などの苦勞の末、構想から約10年、1989年3月に開園した。約

80種600匹・羽を放し飼いし、「動物のありのままの姿に出会える」園は30周年を迎えた。

## WONDERSHIP17

### 備前岡山京橋朝市

岡山藩の水陸交通の要として栄えた旭川・京橋の賑わいを取り戻そうと平成元年にスタートし、毎月第1日曜日と12月には29日にメ市を開催。一度も休むことなく開催を続け、2018年に30周年を迎えた。当初は30店舗しかなかったが、今では130店舗になり、新鮮な野菜・果物・魚が買え、人と人の大切な交流の場となっている。

## WONDERSHIP18

### 岡山大学医学部名誉教授 岡田 茂 氏

ミャンマー（旧ビルマ）で近代医療に通じた将来の医療リーダーを育成し、東南アジアの医療近代化の一端を担ってもらうようと、2006年3月に日本・ミャンマー間の医療協力と人材育成のためのNPOを設立された。また、竹内昌彦氏の途上国の視覚障害者への支援事業に協力している。

## WONDERSHIP19

### 岡山シーガルズ主将 山口 舞 氏

バレーボールVリーグ女子の岡山シーガルズのエースとして、主将としてチームを支え、岡山の地を愛し、引退会見には多くのファンに感動を与えた。全日本女子代表メンバーとしても 2010年世界選手権 2012年ロンドンオリンピックでも輝かしい成績を残され、Vリーグ女子では通算出場セット数 通算出場試合数の新記録を更新した

## WONDERSHIP20

### 女子プロゴルファー 渋野 日向子 氏

女子ゴルフの国内四大大会第1戦、ワールド・サロンパス・カップで、岡山市出身の渋野日向子氏が通算12アンダーの276でツアー初優勝。岡山県ゴルフ協会によると、県出身者の四大大会制覇は初めて。20歳178日での大会制覇は史上最年少。

## WONDERSHIP21

### 笠岡校サイエンス部3年 植松 蒼 氏

「セミは地上に出たら1週間程度しか生きられない」という俗説を1カ月くらい生きていたことを独自の野外調査で証明した。捕獲したセミ863匹にマーキングし、15匹を再捕獲、4匹を再再捕獲して最長生存確認記録はアブラゼミが32日間だった。調査の手法と結果を5月に広島大学で開かれた「中四国地区生物系三学会合同大会」で報告。高校生部（動物分野）で最優秀賞を受賞した。

## WONDERSHIP22

### 津山市の中学校教諭 植原 淳幹 氏

生後10か月の時に事故で右腕が動かなくなり、残された左腕で努力し、新見高校時代に軟式野球全国大会で優勝。岡山大学でもキャプテンを務めるなど野球一筋に打ち込んできた。中学時代から、障がい者野球チーム「岡山桃太郎」に入団し、エースとして活躍。家族と呼び合う仲間と共にチームを全国優勝へと導いた。現在は津山市の中学校教諭になり、子供たちに大好きな野球を教えている。

## WONDERSHIP23

### 山陽女子中学校・高等学校 地歴部

2008年から岡山県沿岸の瀬戸内海で地元漁師らの協力を得ながら海底ごみを回収。発生源や漂流経路を調べ公民館での出前授業などで環境浄化の啓発活動にも取り組んでいる。水環境の向上に貢献した団体個人に贈られる第21回日本水大賞で最高賞の大賞を受賞。2018年ジャパンSDGsアワードの特別賞も受賞している

## WONDERSHIP24

### 池田動物園 ライオン モジロウ

モジロウ（♂）は2019年8月で20歳となる。百獣の王ライオンは運が良ければ12歳くらいまで生き的一方、およそ半数が2歳までにこの世を去る。そんな野生の雄ライオンに対し、池田動物園のモジロウは別の生涯を送っているとはいえ、20歳という年齢はワンダーという他ない。これからも岡山の子どもたちに「命の大切さ」を、大人たちに「生き抜く力」を伝え続けてほしい。

## WONDERSHIP25

天満屋女子陸上部監督 武富 豊氏

2020東京五輪女子マラソン代表となった前田穂南選手をはじめ山口衛里選手、坂本直子選手、中村友梨香選手、地元岡山県出身の重友梨佐選手とオリンピック代表選手を日本女子実業団では最多となる5人輩出された。

## WONDERSHIP26

岡山市立操山中学校 ボランティア委員会

2010年3月18日に点字ブロックの石碑が建立されてから10年間、毎月石碑とその周辺の清掃活動を続けてこられた。そのおかげで、石碑は国道を行き交う人々に大切なメッセージを送り続けることが出来ている。中学生は順次入れ替わっていくが、卒業する生徒たちの「大切なことに参加している」という自らの思いが後輩たちにも引き継がれ、10年の成果となっている。

## WONDERSHIP27

JR岡山駅

点字ブロックを守る活動を積極的に支援してこられた。駅ホームでの放送、「黄色い線まで」の言葉を「黄色い点字ブロックまで」と変更したが、今では全国の駅構内放送へと広がっている。重要なターミナル駅なので多くの障害者が介助を求めているが、利用者の方々からは異口同音に「岡山駅での対応は親切で的確であり最高でした」と言われている。最近「視覚障害者への声かけ」をお願いするポスターも設置してくれた。

## WONDERSHIP28

筑波大学付属視覚特別支援学校（附属盲学校）

高等部3年 近藤 悠斗氏

岡山県立盲学校出身で先天性網膜分離症の近藤君は、視覚障害者として生活する中で感じる「壁」と「共生」についての考えを、人種差別と闘った南アフリカの元大統領ネルソン・マンデラ氏の姿と重ね、「共に生きるということ」という題名で「自由への長い道：ネルソン・マンデラ自伝 上・下」の読書感想文を書き、第65回青少年読書感想文全国コンクールで内閣総理大臣賞（最優秀賞）を受賞した。